

令和5年度 第1回 労働衛生委員会 議事録

日時: 令和5年8月2日(水) 14:00 - 15:00

場所: : 文部科学省研究交流センター 2階 第1会議室 [茨城県つくば市竹園2-20-5]

出席者:

【委員】笹原委員長(筑波大)、村井委員(JAEA/JAXA)、照井委員(農研機構)、木村委員(産総研)、島田委員(国土地理院)、光畑委員(筑波メディカルセンター)、友常委員(コマツ)、堀委員(筑波大)、高橋委員(筑波大)

【顧問】熊岡顧問(土浦労働基準監督署)

【事務局】須藤、西田(記録)

(1) つくば健康生成職域コホート調査(T-SOCS、旧:生活環境・職場ストレス調査)について

資料1 調査概要、令和4年度事業報告および令和5年度事業計画について、堀委員から説明。

資料3 令和3年度調査報告書について、笹原委員長から説明。

資料2 令和2~4年度執行済額および令和5年度予算案について、堀委員から説明。

資料4 令和4年度活動報告および令和5年度活動計画について、笹原委員長から説明。

- 今年度実施予定の予備調査についてご要望があればお寄せいただきたい。次回調査をする際に令和3年度調査時の回答と比較することについて同意を得られた方から、令和3年度調査では3割くらいの記名回答があった。本調査に備え、今年度の予備調査で確実に連絡が取れるようにする。
- 調査のこれまでの執行状況および今後の計画について、委員から意見なし。
→今年度は予備調査を実施し、来年度は第2回コホート調査を実施するという形で、ワーキンググループを作成し、予定通り進めていきたい。(笹原委員長)

(2) 情報交換会の開催について

資料4 令和4年度第1回情報交換会の開催報告について、高橋委員から説明。

資料5

- 今年度も情報交換会を開催予定。テーマは事前アンケートや労働衛生委員会の場で各機関の課題についてお話いただき選定する。
→開催については賛同されたということで進めていきたい。(笹原委員長)
委員からの意見は以下のとおり。
- 各機関が孤立せず、他機関と情報交換し議論することに開催の意義があるということ、より多くの機関に参加してもらえるよう明示すべき。
- 事業者が抱える悩みの一つに、化学物質の管理がある。これまでは国が指定した化学物質のリスクアセスメントをすれば済んだが、自分たちでリスクアセスメントをする化学物質を選ばなければならなくなった。既に相互に連携し化学物質の管理について情報交換をし

ている事業所もあるようなので、筑協の情報交換会のテーマとして取り上げて良いのでは。

- 前回開催時、リモートワークに関する労務管理や健康管理の難しさについて議論が盛り上がった。リモートワークは勤務形態として今後も継続すると思われるため、各機関の取組に関して適切に情報交換できると有意義なのでは。
- 高齢者・女性・短時間勤務・外国人など、労働者が多様化する中で、幸福感や生きがいを見出しつつ働くにはどうすればよいのか。若い職員や育児・介護中の女性の退職を防ぐことに繋がる。仕事と家庭の両立支援をどうしていくべきか、他の事業者にも聞いてみたい。
- 新たなテレワーク形態の導入（一定の条件を満たせば、月に50%まで、自宅以外からもテレワークが可能になった。）により、労務管理や健康管理について、これから様々な課題が出てくると思われる。テレワーク中の部下の体調不良に上司が気づき、健康管理室に繋ぐ、という仕組みづくりについて、他機関でどう対応しているのか教えていただきたい。
- 所属先機関が独自に行っている取組は特にないが、情報交換会では他機関の情報を聞き、参考にできるため有り難い。所属先ではコロナが5類になって、テレワークの機会がめっきり減ったため、社会全体としてはテレワーク体制が整っていく中で、今後どういったことが起きるのか興味深い。
- メンタルヘルス不調者への対応や、就職後に精神疾患が判明するケースなど、人員不足の中で障害を持つ職員とどううまくやっていくのかに興味がある。
- テーマを事前に設定すると人数に偏りが生じ、人数調整が生じる可能性があり、参加者の希望に必ずしも沿わないケースがありうる。議論の発散やファシリテータの負担が想定されるが、テーマではなく人数によってグループ分けを行うのはどうか。
- 勤務形態の多様化、化学物質管理など、各組織の悩みに対して制度的なものを紹介できるようにして臨みたい。若者のメンタルケアが個人的な悩み。
- ある企業から、自殺者が発生した際の対応について問合せがあった。情報交換会のテーマとしていかがか。
- クレームや攻撃的な苦情の電話などへの対応について取り上げて良いのでは。
- 単なる情報交換に留まらず、専門家を招いて講演会や勉強会を開催するなど、発展させていく形もありうるのでは。

→事前アンケートの実施や開催にあたり、貴重なご意見として取り入れる。テーマは事前に設定するのではなく、参加者に応じて4～5人でグループを組む。ファシリテータについては委員にお願いする場合があるかもしれない。また、情報交換会後の発展としての講習会や勉強会の実施についても検討していきたい。

(3) その他

- 特になし。

以上

《資料》

資料1 令和5年度総会資料より抜粋 令和4年度事業報告と令和5年度事業計画(案)

資料2 令和2～4年度執行済額および令和5年度予算案

資料3 令和3年度調査報告書 ※回覧のみ

資料4 ワーキンググループ 令和4年度活動報告と令和5年度活動予定

資料5 令和4年度情報交換会 開催報告

資料6 令和5年度情報交換会 開催概要(案)

《参考資料》

参考1 令和4年度 第1回労働衛生委員会議事録

参考2 筑協「労働衛生委員会」委員一覧

参考3 筑協「労働衛生委員会」運営要項